

よい住宅ってなんだろう

家のリフォームをテーマにしたテレビ番組や雑誌の特集が組まれるなど、「狭くても住みよい住居」への関心が高まっています。

建築家、研究者、編集者、弁護士がそれぞれの視点から家を考える本が出版され「よい住宅ってなんだろう？」をキーワードに、住む人が積極的にかかわる家づくりを提案しています。

●失敗しない家づくり

消費者に「失敗しない住宅獲得方法を伝授する」のが、日本弁護士連合会編『家づくり安心ガイド』（岩波書店・1900円）。欠

家の本

「広くなければ快適な家ではないのか」との疑問をなげかけるのは、井形慶子著

陥住宅被害者の救済のために奔走してきた弁護士たちが、土地や建築士を選ぶポイントから予算まで、消費者の疑問にQ&A方式で答えます。

欠陥住宅を防ぐために、建築士の資格を持つ第三者が、設計図と現場の施工が一致しているかをチェックする管理の徹底、施工主が建築現場を見に行くことの重要性などを丁寧に解説しています。

●中村好文著『住宅読本』

(新潮社・2800円)は、建築家が自分

で手がけた家や現地を取材した建物を題材にくりひろげる住宅論。写真とカットを満載し絵本か写真集のようで視覚的にも楽しめます。

階段の上の吹きぬけに本棚を設置し、可動式の空中廊下をつけるなど設計や家具のデザインに遊び心をのぞかせます。

住宅は「人の営みの温かい息遣いが感じられる場所であってほしい」という著者は、風景や町並み、そこに住む人々への親愛の気持ちとそれをはぐくむ建築的手法を大切にしています。

●狭い家で快適に

『少ないお金で夢がかなうイギリスの小さな家』（大和書房・1500円）著者のイギリス取材は六十回を超えます。

90%以上が建築年数の古い中古住宅で、平均延べ面積が五十平方メートル(約十五坪)以下ですが、それでも個性を大事にし、快適に暮らす人々の知恵を紹介します。

広さへのこだわりを例に、日本とイギリスの「住みたい家の判断基準」の違いを分析。

「ここに住みたい。ここでなければ」と思える家づくりを追求します。

今年はお国のわらび園です 山菜とりと温泉の旅

友の会のレクリエーションとしてすっかり定着した恒例の山菜とりと温泉の旅は左記により実施の予定です。

期日 5月28(土)29(日)一泊二日
行先 山形県・小国町観光わらび園
宿泊 大滝温泉 TEL0238・62・5060
参加費 二万円(往復バス代含む)
定員 40名になり次第締切ります。
※お申し込みは当組合事務局まで

恒例のお花見の会

今年も友の会の皆さんと楽しくお花見の会を行います。

会場はおなじみの津田山です。お誘い合わせでおいで下さい。

日時 4月3日(日)午前10時〜午後2時
会場 津田山霊園(雨天中止)
会費 千円(飲み放題・食べ放題)

